

つなぐ

第31号

2023年11月1日発行
鳥取県境港市議会

令和5年9月定例会議決結果 P 2

令和5年9月定例会(令和5年度補正予算) P 4

一般質問 P 6

行政視察報告 P 18

昭和南1号岸壁 ガントリークレーン1号機・2号機

令和5年9月定例会 （議決結果・令和5年度補正予算）

境港市議会では、9月5日から23日間の会期で9月定例会が開かれました。9月定例会では「教育委員会委員の任命について」など人事6議案、「令和5年度境港市一般会計補正予算」など予算5議案、「境港市特別医療費助成条例の一部を改正する条例制定について」が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決され、「令和4年度境港市一般会計歳入歳出決算の認定について」など決算7議案については、決算審査特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

また、提出された「境港市への高齢者に対する体育施設の使用料減免及び壁打ち用壁の設置を求める請願」は継続審査、「消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情」など4件は採択となりました。その他、委員会提出議案2件と議員提出議案2件が原案の通り可決されました。

議決結果の詳細は一覧表をご覧ください。また市議会ホームページでもご覧いただけます。一般会計補正予算から主な事業をP4、5で紹介し、予算委員会での質疑と意見を掲載しています。

総務民教委員会での質疑・意見

「旧誠道小学校の利活用について」の報告

懸案となっている旧誠道小学校の跡地利用について、今年1月に株式会社SC鳥取から「スポーツを通じた街づくり人づくり」をテーマとし、校庭全面を夜間照明付きのスポーツ用天然芝グラウンドに整備し、ガイナレ鳥取育成組織の活動拠点とし、交流試合の実施や宿泊施設としての利用、体育館などの施設も付帯設備として利用し、地域に密着した施設とするとの提案があり、現在協議中であるとの報告がありました。さらに今後の想定スケジュールについて説明を受けました。

委員からは、今後の協議内容にかかる財政面、建築物の改修などについてさまざまな質疑があり、今後の進展状況について変化があれば随時報告を求めることとしました。

賛成：○ 反対：× 継続審査：△ （注）賛否状況は全て案件に対する各議員の賛否状況を記載しています。

賛 否 状 況														
自由未来							きょうどう					境港市議会公明党議員団		無所属
永井章	荒井秀行	景山憲	加藤文治	吉井巧	松本晶彦	伊藤康弘	米村一三	岡空研二	森岡俊夫	平松謙治	柊康弘	田口俊介	足田法行	安田共子
○	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
×	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
×	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
△	議長	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
×	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○
×	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○

令和5年9月定例会 議決結果一覧表【全会一致で議決したもの】

区 分	番 号	案 件 名	議決結果	
市長提出議案	人 事	第40号	教育委員会委員の任命について	同 意
		第41号	公平委員会委員の選任について	同 意
		第42号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意
		第43号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意
		第44号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意
		第45号	人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意
	予 算	第46号	令和5年度境港市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
		第48号	令和5年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決
		第49号	令和5年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決
		第50号	令和5年度境港市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
	条 例	第51号	境港市特別医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	決 算	第52号	令和4年度境港市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
		第53号	令和4年度境港市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
		第54号	令和4年度境港市駐車場費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
		第55号	令和4年度境港市下水道事業費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
		第56号	令和4年度境港市介護保険費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
		第57号	令和4年度境港市市場事業費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
		第58号	令和4年度境港市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
委員会提出議案	第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	
	第7号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書の提出について	原案可決	
陳 情	第9号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める陳情	採 択 意見書提出	
	第10号	地方財政の充実・強化を求める陳情	採 択 意見書提出	

※このほか報告が3件ありました。

令和5年9月定例会 議決結果一覧表【賛否の分かれたもの】

区 分	番 号	案 件 名	議決結果	
市長提出議案	予 算	第47号	令和5年度境港市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議員提出議案	第2号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について	原案可決	
	第3号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について	原案可決	
請 願	第2号	境港市への高齢者に対する体育施設の使用料減免及び壁打ち用壁の設置を求める請願	閉会中の継続審査	
陳 情	第8号	消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情	採 択 意見書提出	
	第11号	年金引上げに関する陳情	採 択 意見書提出	

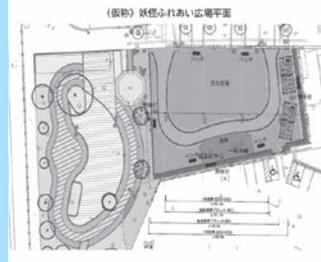
令和5年度一般会計及び 公共下水道事業会計補正予算



避難所等 環境整備事業

災害時の避難所などにおいて、仮設用点字ブロック、ポータブル電源、ペット用ケージなどを整備する。

711 万円



(仮称) 妖怪ふれあい広場 整備事業

実施設計の完了にともなう境港駅前広場を整備する工事などにかかる費用。

8,994 万円



小学校トイレ 改修事業

小学校3校のトイレの洋式化、床面のドライ化、みんなのトイレ(オールジェンダートイレ)の設置など、改修工事のための実施設計業務にかかる費用。

963 万円

予算委員会での質疑・意見



【明治町元公営住宅家屋 解体撤去事業】

1,571 万円

◇内 容
老朽化で危険な状態となっていた元公営住宅の解体工事費。費用のうち5分の2を国庫補助金で充当する。

◇経 緯
昭和初期 土地を借用して町営住宅1棟7戸を建設。
平成19年 市費で解体し、土地所有者へ返還する取り扱い方針を決定。
令和5年6月 居住者すべてが退去したことを受け、取り扱い方針に従い、10月より解体工事に着手。

◇主な質疑・意見
「特定空家の解体については、所有者などがわかっている物件は行政代執行で対応され、所有者がわからないような物件は略式代執行で対応されるが、今回の解体工事がどちらの制度に該当するのか」との質疑がありました。

市からは「国に確認し、本事案はどちらにも該当しない特殊な事案として取り扱うことになった。結果、総事業費の5分の2を国庫補助金で充当できるようになった」との回答がありました。

委員からは、「今回は特別な取り扱い事案であり、特定空家は市が予算措置して対応してもらえると勘違いされないよう、本事案について、市民に丁寧にしっかりと説明してほしい」と意見があり、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決しました。



【就農応援交付金】

82万円

◇内 容
補助制度の見直しにともなう新規就農者への補助金の増額補正。

◇概 要
補助制度創設当時よりも、新規就農

者の所得が減少していることが判明したため、交付単価を1年目月10万円、2年目以降月6.5万円を10万円、3年目以降月4万円を10万円に見直す。

◇主な質疑・意見

委員から「県全体で80名の新規就農者に対する補助制度となっているが、交付単価の見直しを行う根拠となる収入支出の説明があっても良いのではないか」との質疑や「本市の農業を支える観点から、新規就農者の年間所得が、目標である300万円に到達し、補助対象期間の3年を経過した後も、営農に従事できるような新たな取り組みの必要性を検討するためにも、県が集計した収支計画の内容の詳細について情報提供をしてほしい」との意見がありました。市からは別の機会に改めて報告を受けることとし、採決の結果、原案のとおり可決しました。



かんきよ 管渠建設改良費 (公共下水道事業)

1,305万円

◇内 容
水路壁の倒壊が著しい下ノ川承水路について、令和6年度予定の工区を変更し、前倒して改築工事を実施するための測量設計業務にかかる費用。

◇主な質疑
委員からは「大雨などの影響により、水路壁の倒壊・崩落が危惧されることから、設計が確定すれば、計画年次にこだわらず、さらに前倒して、工事に着手したほうが良いのでは」という質疑がありました。

採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決しました。



市政を問う

議員12人が一般質問を行いました。

ページ	質問事項	質問議員	ページ	質問事項	質問議員
6	各個質問 ①旧誠道小学校跡地の利活用について	吉井 巧	12	各個質問 ①車両管理について ②J R 境線を活用した再開発について	米村 一三
7	各個質問 ①「市民と議会の懇談会」から生活環境の改善について ②高齢者がいきいきと暮らしていけるまちづくりについて ③本市のプライベート5Gなど自治体DX推進の取り組みについて	足田 法行	13	各個質問 ①学校現場における現状について ②中野海浜公園沿い承水路の適切管理について ③ゴミ対策の推進について・ゴミ減量化への一層の取り組みについて	景山 憲
8	各個質問 ①小・中学校ICT教育について ②避難所の備蓄について	松本 晶彦	14	各個質問 ①小中学校と家庭生活の支援について ②防災備蓄倉庫の設置について	加藤 文治
9	各個質問 ①国の原子力政策について ②自治コミュニティ助成事業について	平松 謙治	15	各個質問 ①SDGsの取り組みについて ②IoTの技術による市民生活の向上について	伊藤 康弘
10	各個質問 ①安心安全な学校給食の体制構築について ②農業振興について ③多様な家庭のあり方が尊重される社会へ	安田 共子	16	各個質問 ①市の関わるイベントでの安全対策について ②境港のカーボンニュートラルポート推進について	田口 俊介
11	各個質問 ①農業振興、一般について ②通学路について	永井 章	17	各個質問 ①地域経済・市民生活の下支えについて ②友好都市提携について	森岡 俊夫

紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

利活用に向け サウンディング調査を

市長

調査を行っても一緒
熟度の高い提案で進める



利活用が待たれる旧誠道小学校跡地

「吉井」旧誠道小学校の利活用について、進捗状況は。



会派 自由未来
吉井 巧 議員

〔市長〕現在、利活用に強い希望を持った民間事業者から具体的な提案があり、開発行為の許可を取る方針で協議中だ。

〔吉井〕廃校後、利活用について相談や提案は何件あったか。

〔市長〕令和2年度から現在までに、施設の一部のみの利用も含め11件あった。

〔吉井〕利活用に向け、本市として一定の条件下で市場型サウンディング調査を行う考えはないか。

〔総務部長〕今年1月にサウンディング調査の検討をしたが、そのタイミングで今回の提案があり、調査は行わなかった。

〔吉井〕公平性を保つため、同条件で公募を行えば、より地域に寄り添う利活用があると考えるが。

〔市長〕これまでの11件の提案内容はどれも熟度が低く、サウンディング調査を行っても成果はないと考え、一番熟度の高い今回の提案を進めていくこととした。

※ヌカカ対策を始めてはどうか

※ヌカカとは、ハエ目・ヌカカ科に属する昆虫の総称です。



公明党
足田 法行 議員

市長 被害状況をふまえ対応策を検討する

〔足田〕本市でもヌカカの被害状況などを確認して、対策を始めるべきだ
と思うが。
〔市長〕本市2カ所の皮膚科医に聞いたところ、ヌカカ被害と思われる受診が年間約110件程度ある。引き続き市民への周知をはかるとともに、自治会を通じて、実態調査を行ってみたい。
今後は、被害状況に応じて、対策を進めている米子市や関係機関に相談するなど、状況をふまえた対応策を検討していく。

高齢者の社会活動への活性化策は



75歳以上の高齢者へはまらぶバスの無料乗車パスの配布を

市長

健康長寿をめざし 社会参加するよう啓発する

〔足田〕高齢者の方の社会活動の活性化として、無料乗車パスの活用や、介護予防など社会活動にポイントを付与し買い物券などに交換する取り組みをしては。
〔市長〕提案の無料乗車パスの配布やポイントを付与し、買い物券に交換することとは考えていないが、今後も健康長寿をめざし、社会参加していただくよう啓発していく。

自治体 DX での 民間活力の活用は

市長

今後事業者との協定や 企業の人材派遣を検討

〔足田〕本市の自治体DXはスピード感に欠ける。民間活力の活用を考えては。
〔市長〕「窓口BPR推進プロジェクトチーム」を設置し、「書かない窓口」「迷わない窓口」の実現に向け、検討しているところである。従来から、地元金融機関や地元企業、携帯電話事業者などと情報交換を行い、連携や協力を深めている。今後、必要に応じて、事業者と協定を結ぶことや企業からの人材派遣などを検討していく。



ICTによるオンライン上で協働する学習活動の様子

ICT 教育の 今後の方向性は

教育長

主体的・対話的で
深い学びを実現していく



GIGA スクール タブレット

〔松本〕学校教育に
おけるICT授業の
成果、タブレットの
持ち帰りの件、本市



会派 自由未来
松本 晶彦 議員

のICT教育の今後の
方向性についてう
かがう。

〔教育長〕ICT教
育の成果としては、
端末を使うことで、
生徒自身が理解度
や速度に合わせた学
習ができるように
なり、自分の思いや
考えを表現しやす
くなった。教員の成
果としては、アンケ
ートの集計など、効
率的に学習や作業を

めることができるよ
うになった。持ち帰
りについては、一部
の学校では普段から
行っており、他校に
ついては9月中に取
り組むことにしてい
る。ICTを活用す
ることにより、個別
最適な学びと協働的
な学びを適切に組み
合わせて、主体的・
対話的で深い学びを
実現していきたい。

災害時の避難所運営計画は

市長

避難所運営マニュアルを策定している

〔松本〕避難所開設
時に必要な設備や物
資は、主に、点在す
る防災備蓄倉庫にあ
るが、大地震が発生
し、道路や建物が倒
壊した際に、避難所
である学校や公民館
に備蓄されているも

ので対応できるの
か。災害時の指定避
難場所の備蓄を含め
た避難所運営計画の
現状は。
〔市長〕優先的に開
設する公民館には、
小型発電機、投光器、
リヤカーなどを備
蓄、避難所生活で必
要となる備蓄品につ
いては市内4カ所に
分散して備蓄してい
る。大地震により道
路が被災した場合、

速やかな応急復旧工
事を実施、緊急輸送
ルートの確保を行
い、指定避難所に物
資を配送する。災害
時の避難所運営計画
については、「避難
所運営マニュアル」
を策定し、被災者を
円滑に受け入れるた
めに必要な避難所
の開設・運営基準、配
送された物資の受領
や管理要領などを定
めている。

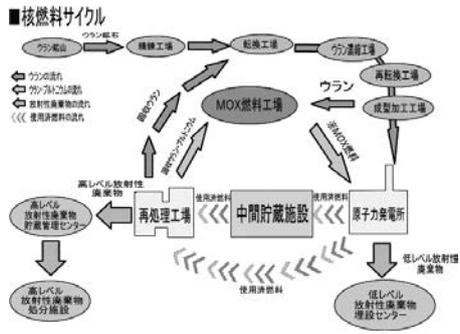


避難所マーク

プルトニウムを含む燃料使用は？

市長

使用にあたっては、説明を受ける必要がある



核燃料サイクルについて
(青森県むつ市ホームページより)

〔平松〕国の進める原子力政策は、核燃料サイクルを基軸とし、島根原発2号機



会派 ぎょうどう
平松 謙治 議員

も同様である。今後、プルトニウムを含むMOX燃料の2号機での使用について、地域住民や行政機関が可否判断を行える機会があるのか。

〔市長〕新規制基準において、MOX燃料を前提に設置変更許可が行われている。しかし、MOX燃料について中国電力から説明を受けておらず、使用する際には、説明を受ける必要がある。

〔平松〕核燃料サイクルのしくみが構築されていない状態で物事が進めば、島根原発内に使用済み燃料を貯蔵することに。国の核燃料サイクルについて地域住民とともに勉強し、正しい判断をできるような場が必要である。

〔市長〕思いは、理解する。国の責任において適正な施設整備を進めるよう、要望したい。

宝くじの助成金の活用実績は？

市長

祭の神輿や防災備品、除雪機などさまざま

〔平松〕宝くじの収益金を活用した自治コミュニティ助成は、どのような助成事業があり、本市での実績は。

〔市長〕「地域の祭や自治会行事の備品整備」「防災活動の備品整備」「集会施設などの大規模修繕」「親子で参加するスポーツ・文化イベント」「地域資源

の活用を目的とした事業」「文化芸術事業で公募型ワークショップなど」「多文化共生、国際交流事業」の7つの助成事業がある。本市では、地域の祭用の神輿や自治会のさまざまな備品・防災用具の整備。青少年育成の炭焼き体験事業。本年度は、ロー



やぐらステージ
令和4年度 幸神町で整備

ド30周年事業でも活用した。

〔平松〕例年、自治会や自主防災会からの応募が中心だが、本年、新たな区分で本市が助成を受けたことを評価する。多様な区分での活用を望む。毎年の事業の採択数は。

〔総務部長〕年2〜3件が採択される。

魅力ある農業構想を 考える部署を

市長

関係機関と連携し、
総合的に支援していく



特産白ネギ農家



会派 自由未来
永井 章 議員

【永井】魅力ある農業構想を考える部署を設けては。

【市長】就農希望者に農地の斡旋確保、基礎研修、実践で技術、経営など各関係

機関が連携、総合的に支援し、農業が魅力ある職業になるよう取り組む。

【永井】耕作放棄地内の道路管理を、地権者と市で、話をすべきでは。

【市長】耕作放棄地は、地権者が適正に管理することが原則。道路交通に支障がある場合は、地権者に連絡をとり、適正管理をお願いしている。連絡がつかない場合で、交通に

支障がある危険な箇所は、安全確保のため市が草刈りなどを行っている。

【永井】深田川排水路管理方法は。

【市長】所有者は鳥取県。市は、管理委託を受け、転倒堰の管理を、受益農家で組織する「境港市農業用排水路管理調整協議会」に依頼している。協議会の樋門管理者が、川の水量を確認し転倒堰の操作を行っている。

中浜駅幸神町間の 通学路安全対策を

教育長

令和6年度に防護柵を設置予定

【永井】昨年6月議会の質問以降、中浜駅から幸神町間の通学路についてのどのような安全対策を講じたのか問う。

【教育長】本市における通学路の安全対策については、平成21年度より、各学校、



集団登校の様子

保護者、地元自治会、見守り隊、警察、道路管理者、教育委員会が連携し、毎年、通学路における危険箇所の合同点検を実施して、対応を行っている。ご指摘の中浜駅から幸神町間の通学路については、令和4年度に実施し

た合同点検で、「児童が車道に出ないような対応を講じてほしい」との要望を中浜小学校より受けており、関係機関と協議の結果、対応策として、令和6年度に防護柵の設置を予定している。

保有する公用車の 車両管理は適切か

市長

過去の事例の反省から
車両管理を厳格にした



本市の公用車

〔米村〕近隣の自治
体で車検切れに気づ
かず、公用車を使用
したとして、会見を
開き、謝罪したとの



会派 きょうどう

米村 一三 議員

報道があった。原因として担当職員が異動した際に、後任者へ十分な引継ぎができていなかったことが挙げられていた。数多くの公用車を使用する本市では、車両管理が適切になされているのか。

〔市長〕本市の所有する公用車は、104台あり、職員が共同で使用するのは総務課が管理し、現場や訪問のための外出の頻度が高い部署の車両やごみ収集車などの特殊な車両は、それぞれの所管課が管理している。

近隣の市町村で車検切れに気がつかず公用車を使用する事案が報道されたが、本市においては、令和2年度に同事案が1件発生した。この反省をふまえて、現在は所管課による確認に加えて、総務課において年2回、車両の点検状況の確認を行っており、以後の発生はない。

夕日ヶ丘分譲地の 現況と見通しは

市長

宅地分譲は令和6年度
に終了する見通しだ



夕日ヶ丘の街並み

〔米村〕夕日ヶ丘分譲地は、定期借地権制度を導入以来、利用者が増加し、累計契約数は285件に達したとのことだ。直近の現況、並びに今後の見通し、対応についてうかがう。

〔市長〕夕日ヶ丘分譲地の宅地分譲予定総区画数は454区画あり、宅地分譲地として供用済みの区画は、450区画となった。この450区画に対する8月末の契約状況の内訳は、販売による契約が153区画、定期借地権契約が289区画、住宅地貸付制度契約が3区画の合計445区画が契約済みであり、未契約区画は残り5区画

である。また、宅地分譲地として共用できていない4区画も歩道切り下げ工事などの準備が整いし、分譲を開始する。これにより、夕日ヶ丘地区の宅地分譲は、令和6年度には完了する見通しとなっている。今後は残りの事業用借地の分譲に取り組むこととしている。

小中学校体育館へ エアコン設置を



会派 自由未来
景山 憲 議員

教育長

今後新しい体育館建築の折、 設置を考えたい

【景山】気候変動の影響による異常な高温が続く今日、スポーツ授業など学校の教育環境が心配される。体育館にもエアコンの設置を検討する時代になったと考えられているが、見解は。

【教育長】現況、学校体育館の空調設備は暖房、換気機能のみである。今後、学校再編の検討を進めるなかで、学校体育館を建てる場合、エアコンの設置についても検討していきたい。

承水路の適正管理の 分担を明確に

【景山】中野海浜公園沿いの承水路の適



中野町の承水路の現状

市長

本市に無償譲渡後 令和9年から本市が管理

正管理について、過去にも数回聞いてきた。適正管理に向けて、これまでの協議の結果、役割分担、事業内容、計画、実施年度などはどのようなか。

【市長】国有財産である承水路について協議の結果、本市が無償で譲り受ける。今後、境港管理組合が破損箇所、構造物の補修、土砂の撤去などを実施する。承水路補修後、令和9年度から本市が維持管理を行う。

リサイクル促進の 態勢づくりを

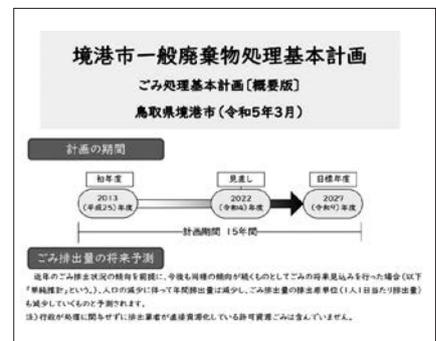
市長

不用品を扱う民間事業者の サイトも研究する

【景山】ゴミ減量化の一環として、不要な家具類、衣服など

の再資源化、使えるものは利用する取り組みが必要だ。近隣自治体や民間事業者と連携するしくみを研究し、態勢づくりをはかるべきでは、見解は。

【市長】不用品リユースについてさまざまな方策を研究している。全国100カ所以上の自治体と連携し、不用品を取り扱う民間事業者のサイトもリユース促進方策のひとつとして研究を進める。



境港市一般廃棄物処理
基本計画

児童クラブの 預かり時間延長を

教育長

預かり時間延長は 家庭にとって好ましくない



会派 自由未来
加藤 文治 議員

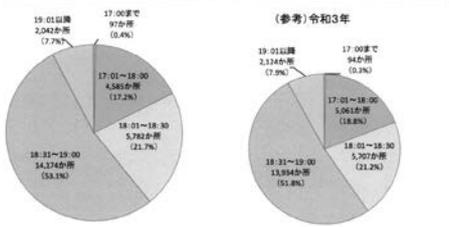
〔加藤〕放課後児童
クラブ入会案内を見
ると、平日は午後2

時から午後5時半、土曜日は午前8時半から午後5時半と
なっている。事情が
ある場合は午後6時
半まで延長できるこ
とになっている。保
護者の方から終了時
間を午後6時半から
午後7時まで延長で
きないのかとの意見
がある。児童クラブ
の終了時間を午後7
時まで延長できな
いのか、見解をう
かがう。

は、ひと月あたり1
〜2件であるため延
長の要望は少ないも
のと認識している。
家庭での家族との
ふれあいや家庭教育
の時間を削ることに
なり、子どもたちに
とって決して好まし
くないと考える。仕
事の都合などで、児
童クラブの開設時間
以上の預かりが必要
な方には、ファミ
リースポーツセン
ターを案内してお
り、今後同様の対
応をしたいと考えて
いる。

6. 終了時刻の状況(平日)

○ 18時半を超えて閉所しているクラブが全体の約6.1%を占めており、増加傾向にある。



終了時間・待機児童の状況グラフ
(厚生労働省ホームページより)

〔加藤〕近年、南海
トラフ沖地震が発生
する確率が高まって
いる。沿岸部では最
大30mを超える巨大
津波が押し寄せ、太
平洋側の24の府県で
激しい揺れに襲われ
ると想定される。最
悪の場合、揺れや火
災、津波などで死者
32万人、23.8万棟

南海トラフ地震対応の 備蓄倉庫を

市長

新たな備蓄倉庫の建設は 国に要望しない

あまりの建物が全壊
し、焼失すると推計
されている。地震が
起これば大量の避難
民が発生する。南海
トラフ地震は、国家
の将来にかかわる災
害でもあり、日本海
側の施設での受け入
れが想定される。こ
のような有事に備
え、防災シエルター
・備蓄倉庫を建設でき
ないか、国に提案し

てはどうか。
〔市長〕鳥取県内の
広範囲で震度5強、
死者はなく負傷者は
10人、本市では最大
震度5弱が想定され
る。受け入れる避難
者については、現在
の本市の備蓄能力で
対応が可能である。
新たな備蓄倉庫の建
設について、国に要
望することは考えて
いない。



境港市津波・洪水ハザードマップ

SDGsの今後の 広報のあり方は

市長

引き続き関係団体と連携し
広報に努めたい



TOTTORI
SDGs

とっとりSDGs ロゴマーク
〈鳥取県〉



会派 自由未来
伊藤 康弘 議員

【伊藤】本市のSDGsに関する広報について、まだまだ発信不足だと思われるが、今後の広報につ

いては。

【市長】広報については、本市ホームページでSDGsの概要や市の取り組みを掲載している。また、昨年12月には市民図書館でSDGsに関する展示や関係書籍を集めた特設コーナーを設け、啓発を行なった。さらに、本年7月にも、市民活動センターの主催で「家族みんなで出来るSDGs」という市民講

座を開催したほか、12月にも市民向けの啓発を予定している。引き続き、鳥取県をはじめとした関係団体と連携・協力して、SDGsの広報活動に取り組むとともに、SNSなどを活用した広報についても、検討したい。

【伊藤】SDGsのアイコンなど市報に入れてみては。

【総務部長】そのようなアイコンも今後、検討していく。

見守り機能搭載 IoT機器の助成は

市長

現在考えていないが、
今後も情報収集を行う

【伊藤】見守り機能搭載IoT機器などの助成について、今後の本市の導入は。

【市長】IoTを活用した高齢者などの見守りについては、冷蔵庫や電気ポットなどの家電

製品が長時間利用されなかった場合、登録した家族のスマートフォンに通知が届くサービスなどが実用化されている。本市においてははひとり暮らしの高齢者宅に、ボタンひとつで通報することが出来る装置を設置する、

緊急通報システムを実施している。IoT技術による見守り機能を搭載した商品の購入費に対する助成は、現在考えていないが、引き続き、機能や費用対効果に優れた見守りサービスについて、情報収集に努めたい。



IoT技術による電気製品
〈イメージ図〉

みなと祭の安全対策は

市長

歩行者の安全確保に万全を期すよう取り組む



安全安心にみんなが楽しめるお祭りに！

〔田口〕今年のみなと祭で露天商の設置した電源ケーブルに踏き転倒し、怪我人



公明党

田口 俊介 議員

〔市長〕今後は同様の事故が起きないよう、露天商組合に対し、道路使用を警察に、占用を市に申請してもらい、警察と実行委員会が準備段階から現場確認を行い、歩行者の安全確保に万全を期し、救護体制については当

日だけでなく、前日についても対応できる体制を整える。また、補償についてはイベント保険の補償内容にもとづき適正な補償を行う。

〔田口〕今回の事故が発生した場所を検証すると、露天商が出店するのに適さないのではと考える。今後、出店場所の最適化、ゾーニングを検討しては。

〔産業部長〕そのような声もあり、今後検討していきたい。

境港CNP形成計画の進捗状況は

※カーボンニュートラルポートの略

〔田口〕境港のカーボンニュートラルポート計画の策定状況について、検討内容と具体的な目標・施策の決定方法、計画策定にあたっての課題、今後のスケジュールは。

〔市長〕計画策定にあたって、境港管理組合が関係企業、学識経験者、自治体などで構成する協議会を昨年10月に設置し、本市も委員として参画。これまで2回の協議会が開催され、検討状況としては、境港周辺でのCO2排出量の推計値が示された。企業へのアンケートでは、

脱炭素に取り組む設備投資にかかるコストへの懸念などが課題である。次世代エネルギーへの転換をはかるために、まずは関係する企業などの需要を把握する必要性などが議論されてきた。今後は9月28日に3回目の協議会を開催予定である。また、法改正により、計画の策定期間は本年度末にずれ込むと聞いている。

市長

計画策定期間は法改正により、本年度末に



2050年のCO2排出実質ゼロの実現へ。

夏休み期間の短縮や学校給食支給を

教育長

食の提供など行政として何ができるか研究



会派 ぎょうどう
森岡 俊夫 議員

【森岡】地球温暖化による今夏のような猛暑が続くことも考えられる。夏休み期間の短縮化や学校給

食を支給するなど考えては。

【教育長】昨今の気象変動に注目すると、安全に過ごせる場としての学校や公施設の開放、食の提供、また、子どもたちを見守るスタッフの配置など、行政として何ができるか研究していく必要があると考える。

家庭の電気代などを考慮し、夏休みを短縮して、給食センターをを活用するなどこれまでの常識にとらわれず、パラダイムシフト（発想転換）すべきと思うがどうか。



境港市学校給食センター

【教育長】今夏は、子どもの安全をどう確保するかを考えさせられた。社会情勢などをしっかりとりえ、変動することを常とするよう教育委員会でも話していく。

国際交流のあり方を有識者や市民と

市長

さまざまな国や地域との交流を進めていく

【森岡】環日本海経済圏構想を背景に始まった中国琿春市との友好都市提携だが、北朝鮮問題やロシアのウクライナ侵攻により、環日本海圏を構成する中国、北朝鮮、ロシアとの溝は深まるばかりで、急速に関係改善するとは思えない。国



ふんちゆん 琿春市・境港市友好都市提携 25周年記念式典 (2018年)

際交流のあり方について、有識者や市民と協議してはどうか。

【市長】長年培ってきた関係を大切にするとともに、市民団体や経済界などの意見や要望を取り入れ、さまざまな国や地域との交流を進める。

【森岡】対岸諸国の安全保障環境は一変した。本市にとって、

先を見通せない地域との国際交流より、将来の経済交流につながる国との友好提携を進めるべきと考えるが。

【市長】琿春市とは、国際情勢の状況を見ながら交流を続けていかないといけないと思う。合わせて、インドや成長著しい東南アジアとも、交流をはかっていきたい。

総務民教委員会 行政視察

参加者

景山 憲（委員長）、平松 謙治（副委員長）、荒井 秀行、加藤 文治、伊藤 康弘、柗 康弘、足田 法行、安田 共子

日程 7月12日～14日

視察先及び内容

○福島県南相馬市役所 東日本大震災後の復興状況について

市の担当課から、震災・事故当時の状況や、人口の推移、現況と発展に向けた取り組みについて説明を受けました。市内の大部分が緊急時避難準備区域でしたが、特に、警戒区域として全避難をした小高区は、今も人口が震災前の約3割までしか回復しておらず、帰還者に占める高齢者の割合が高いなど、さまざまな問題が生じています。

○消防・防災センター（南相馬市）

災害を風化させないよう、震災当時の被災や避難の状況を時系列で示した展示、津波の高さが体感できる展示などがされています。また、災害時に役立つアイテムの展示で今後の災害に備える啓発もされています。



○中間貯蔵工事情報センター、中間貯蔵施設（大熊町）

福島県内の除染にともない発生した除去土壌や廃棄物、焼却灰などを貯蔵する施設が、福島第一原発周辺の大熊町、双葉町の敷地約16km²に整備されています。平成27年以降、福島県内各地の除去土壌を中間貯蔵施設へ輸送・搬入し、分別処理した土壌の貯蔵施設への搬入・覆土が進んでいます。

中間貯蔵施設内をバスで視察し、震災当時のまま残された建物や車もあり、震災・原発事故の恐ろしさを痛感しました。



○東京電力 廃炉資料館（富岡町）

福島第一原発1号機から4号機までの、地震発生時から外部電源喪失にいたった経緯と、廃炉の状況、汚染水の発生状況や処理対策などが展示されています。

○とみおかアーカイブ・ミュージアム（富岡町）

富岡町の歴史・自然や民俗を伝える地域資料や、東日本大震災と原発災害で生じた震災遺産を収蔵・展示しています。ふるさとを振り返られる場所が町民にとっても大切だとして、町民の協力のもと、手作り企画・展示を行っているとのことでした。



経済厚生委員会 行政視察

参加者

岡空 研二 (委員長)、吉井 巧 (副委員長)、松本 晶彦、米村 一三、森岡 俊夫、田口 俊介

日程 8月24日～26日

視察先及び内容

○社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 杉並育成園 すだちの里すぎなみ (杉並区)

移行型の入所施設 (通過型支援施設からグループホームなどへ移行) について視察。

「親御さんが元気なうちに『親亡き後』 どうしていか事前
に相談し、将来のライフスタイルを想定した計画を立てていく」
ことや「『親亡き後』の生活は誰が支えていくのか、今、何事
もない状況から多くの支援者を作ることが大切」とのことでした。



○すみだ北斎美術館 (墨田区)

建設を決定した当初に多額の予算が必要なことから、区民か
らは厳しい意見がありましたが、当時の区長が、寄付金を多く
集めて運営にあたりと明言して建設した経緯があることから、
ふるさと納税を大いに活用しているとのことでした。



○リノベーション型まちづくり・略式代執行について (台東区)

◆リノベーション型まちづくり

リノベーション型まちづくり事業は、空き家・空き店舗を活用
するため、勉強会「まちセッション」を開き、まちづくりに興味
のある人材の発掘や、新規事業のきっかけづくりの場を設けるこ
とで、活用可能な物件と事業者とのマッチングを行うなどのリノ
ベーションに向けた技術的支援を行っているとのことでした。

◆略式代執行について

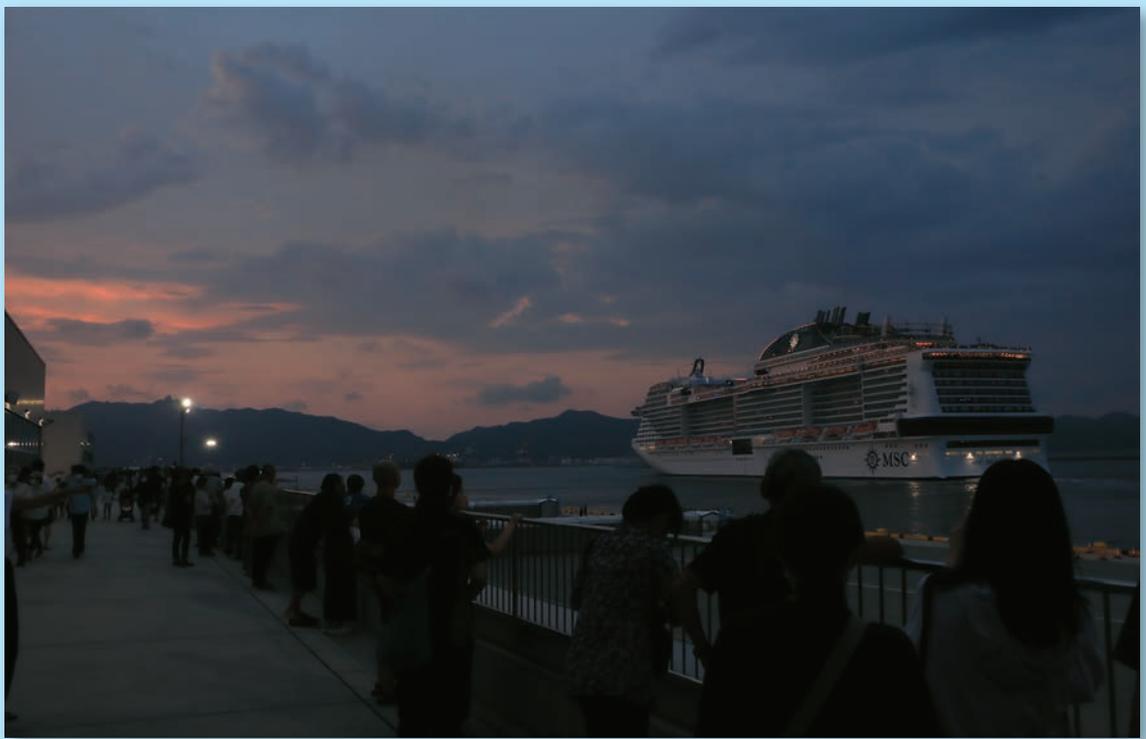
台東区では、平成 25 年には 823 件の空家がありましたが、
対策の効果もあり、令和 4 年には 199 件まで減ったとのこと
でした。地価高騰などの要因で不動産取引が順調に行われたことが
要因としてあったとのこと、境港市においてこのような状況は
想定しにくいと思われます。法的な手続きの流れや調査の継続性
の効果など本市における空家対策を講じるにあたって、リノベ
ーションやさまざまな手法など、参考になる視察内容でした。



○トキワ荘マンガミュージアム (豊島区)

令和 2 年 7 月 7 日に手塚治虫氏や石ノ森章太郎氏などの昭
和を代表する著名なマンガ家たちが青春時代を過ごしたトキワ
荘の再現施設として、このミュージアムが開館しました。総整
備費は 9.7 億円、寄付金は 4.7 億円 (7 月末時点)。寄付金は
全額をあてるのではなく、運営や維持管理にあてられていると
のこと。ミュージアム前には寄付された方や会社の名前を記入
した記念ボードが設置され、ふるさと納税で返礼品なしで寄付
された方々との説明を受けました。記名された中にはマンガ家
や著名人なども多く寄付されていました。





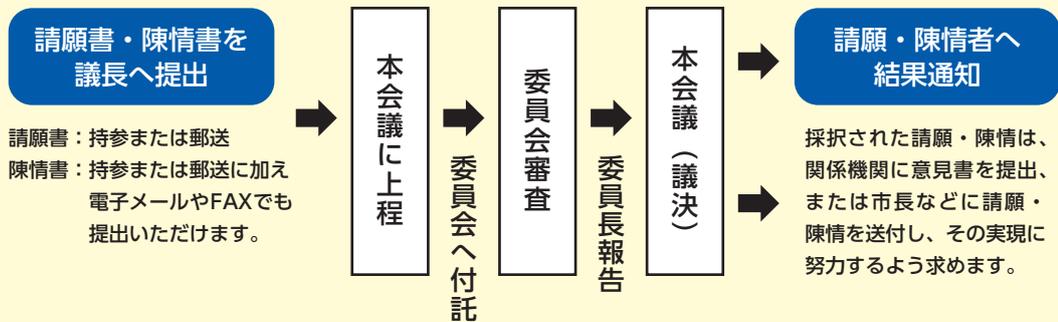
夕焼けの出航

2023年 撮影：竹田 誠司 様

請願・陳情について

境港市議会では、市政などについての要望や意見を「請願」や「陳情」として受け付けています。どなたでも市議会に提出することができ、境港市議会議員1名以上の紹介があるものが請願、ないものが陳情です。

(※陳情は、原則として鳥取・島根両県から提出されたものだけを審議することとしています。)



※提出方法などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。

あとがき

8月の猛暑の中、新型コロナウイルス感染症の分類が5類になってから初めての第8回市民と議会の懇談会が開催されました。第1回の116名に次ぐ106名もの多くの市民の方が参加できたこと、そして、市民の方からたくさんのご意見、ご要望をいただいたことは、何よりの喜びとなりました。また、9月定例議会において、多くの議員が議会質問などで、ご意見を反映させていただきました。ありがとうございました。これからも開かれた市議会をめざして、市民の皆さまとともに歩んでまいりたいと思います。

感染症におきましては、まだ先を見通しづらい状況ではありますが、市民の皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げますとともに、境港市議会に対して変わらぬご協力を賜りますようお願いいたします。

(正田)

【発行責任者】

議長 荒井 秀行

【広報部会】

部長 吉井 巧

副部長

足田 法行

松本 晶彦

森岡 俊夫

安田 共子



境港市議会だより

つなび

2023.11
第31号